



JASDAQ

2012年3月2日

各 位

東京都港区港南四丁目1番8号
アドソル日進株式会社
代表取締役社長 上田 富三
(コード番号：3837)

「ZigBee/IEEE802.15.4搭載 PLCブリッジ端末」の販売開始に関するお知らせ

アドソル日進株式会社（以下 当社、所在：東京都港区、代表取締役社長：上田 富三）は、スマートコミュニティを具現化する為に、PLC（電力線通信）とZigBee及びIEEE802.15.4の3種類のデバイスを実装したセンサネットワークシステム向けブリッジ端末「ZigBee/IEEE802.15.4搭載 PLCブリッジ端末」（以下、本製品）を商品化しましたので、お知らせ致します。

記

1. 開発の背景

無線センサネットワークシステム導入に於いては、通信遮蔽や通信距離により通信エリアが制限されるという課題がありました。

本課題に対し、無線通信が難しいフロア間や部屋間をPLCでブリッジ（補完）することで通信エリアを拡大する事を目的に、文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）「浜松・東三河地域オプトロニクスクラスター創成事業」の開発品として、国立大学法人 静岡大学（以下 静岡大学、所在：静岡県静岡市駿河区大谷、学長：伊東 幸宏）より製造委託を受けて開発しました。又、現在は、本製品を利用して、静岡大学 峰野准教授と共同研究を実施しています。

2. 製品の特徴と導入メリット

(1) 無線通信と電力線通信の採用により低コストで自由度の高いネットワーク構築が可能

①新規ネットワーク配線レスでセンサネットワークシステムを構築でき、導入コストの削減に加えて、導入後もスピーディー、且つ自由にセンサ端末の配置変更が可能です。

②ZigBee通信採用により、センサ端末側の電池駆動が可能となり、電源のない場所でも自由にセンサネットワークシステムを構築することが可能です。

③屋外でも使用可能な低周波帯域PLCで、物理層500kbpの高速通信を実現した最新変調技術を採用しています。

(2) 世界標準の近距離無線通信規格 ZigBeeの採用により汎用性の高いシステム構築が可能

①Smart Energy Profile等に対応することで他社のZigBeeセンサネットワーク製品・システムとの相互接続ができます。

②既存のIEEE802.15.4センサネットワークデバイスとの接続も可能です。

3. 今後の予定

本製品は、無線通信エリアを新規配線レスで拡大させることができることから、ネットワークインフラのない建物へのセンサネットワーク導入やZigBee及びIEEE802.15.4のネットワークの拡張をご検討のお客様に向けて、2012年4月1日より販売（オープン価格）を開始致します。

以上

<報道関係者以外からのお問合せ先>

アドソル日進株式会社 エンベデッド・ソリューション事業部

電話：03-5796-3139
E-mail:esb_sales@admiss.jp

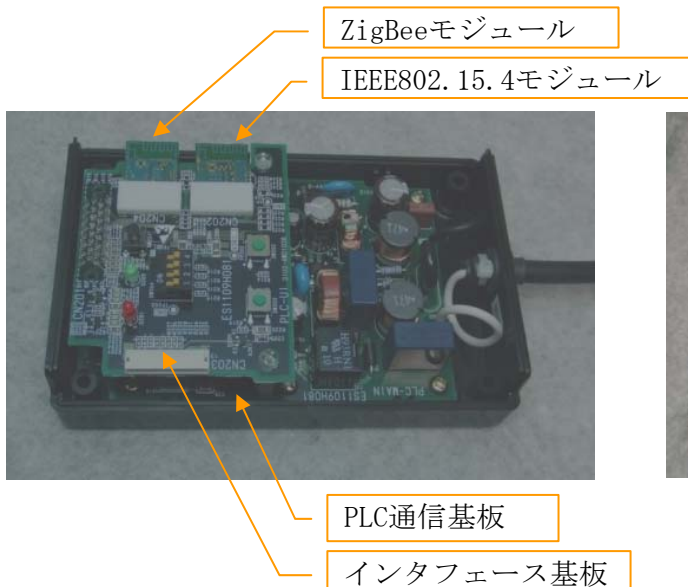
<報道関係者からのお問合せ先>

アドソル日進株式会社 広報・IR室

電話：03-5796-3131
E-mail:ir@admiss.jp

【内部構成】

【外 観】



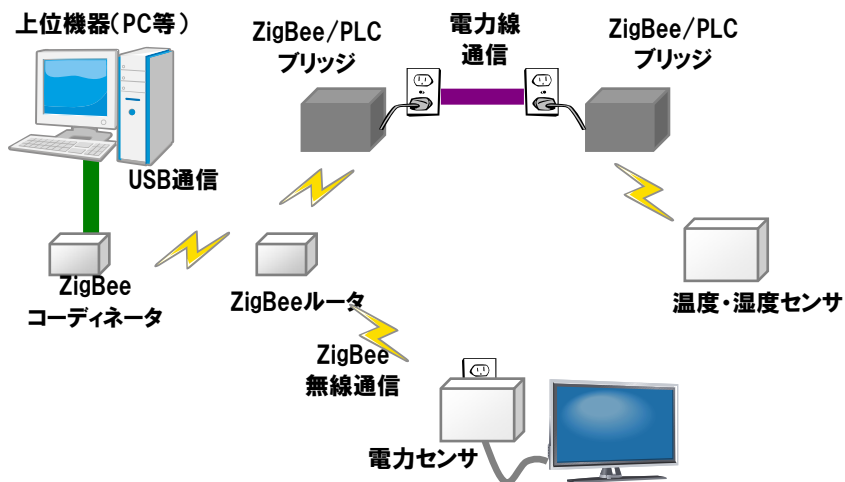
【PLC※1通信部仕様】

項 目	仕 様	備 考
適用モジュール	M16C/6S1	ルネサスエレクトロニクス社製
通信帯域	10kHz ~ 450kHz	—
適合規格・規制	高周波利用設備の型式指定	特別搬送式デジタル伝送装置
伝送速度	物理層最大500kbps	—
使用周波数	100kHz ~ 400kHz	—
変調方式	スペクトラム拡散方式	DCSK※2、DCSKターボ

※1. PLC (Power Line Communication)

※2. DCSK (Differential Code Shift Keying)

【適用システム概要 (例)】



以上